



発行

社会福祉法人川崎愛児園  
児童養護施設川崎愛児園  
発行月 令和7年8月

住所

〒216-0035  
神奈川県川崎市宮前区  
馬絹1丁目24番5号  
TEL: 044(855)2591  
FAX: 044(865)4445  
mail: kawasaki@aijien.or.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性及び健全な経営を目指します。

「命を大切にすること」

「地域での養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることをもち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かして地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

広報誌 さくら

平素より皆様には格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。当法人ではこの4月より駅前の事務所を借り上げ「家庭支援事業」を展開するための準備をしているところです。児童家庭支援センターの機能を強化・拡大するといったイメージが分かり易いかと思います。法人が運営する施設を背景に入所前の子育て家庭支援、家族再統合のための機関連携、退所後の児童・家庭支援、里親家庭の支援を包括的にバックアップするものです。既存の資源の活用や創意工夫による新たな資源や取り組みも重要と考えております。多問題が複雑に絡むことは一機関ではサポートが難しいことから教育・医療・福祉・行政・社協とも連携できる環境を整えることが必須になります。まずは各分野の方々と解決に向けた事例検討を共有することから始めていくところです。準備の段階では焼津市の「春風寮」を視察させていただきました。地域性もありますが、一時預かり、ショートステイは里親さんが行っているということ、その調整を担えるだけの力を持っていることにも驚きました。「福祉は人なり」といわれるように制度施策にプラスして知恵と工夫を活かし「人のため」前進させていく試みが重要だということを学ばせていただきました。私どもも関係する皆さまと意見を交わしながらできることを実現させていきたいと思っております。

引き続き地域の皆さまをはじめ、関係者の皆さまのお力添えをお願い申し上げます。



理事長 白戸 隆



プロレスラー諏訪魔選手とたこ焼き壺屋さんのキッチンカーが来園してくれました!!



プロレスラーの諏訪魔選手とたこ焼き壺屋さんのキッチンカーが来園してくれました!!  
たこ焼きの丸い形は縁起が良いとされ、人との出会いや金運を呼び込むとされています。「たこ」は「多幸」と読めることから、たこ焼きは多くの幸せを運んでくれる食べ物といわれているそうです!  
子ども達も職員もお腹いっぱいいたこ焼きを食べることができ、笑みがこぼれていました!特に中高生からは「こんなにたこ焼き食べられることがないから嬉しい!凄く美味しい!」と喜んでいました。素敵な機会をありがとうございました!

体の大きな諏訪魔選手に持ち上げてもらったり、サインをもらえたり、たくさん交流ができて子ども達も楽しんでいました!  
諏訪魔選手も盛り上げてくださり、ありがとうございました!

## ご縁に感謝

川崎愛児園理事(至誠館)の乳児院

渡部 紀子



この度、役員改選にあたり、理事を拝命し、重責に身の引き締まる思いです。私と社会福祉法人川崎愛児園との出会いは、十五年前に遡ります。平成二十三年私の所属する法人において、乳児院を創設したことが出会いの始まりです。平成二十六年度より乳児院の施設長を拝命し、白戸理事長を始め、法人職員の皆様とも深く関わらせていただくようになりました。そのような中で、特に法人の基本理念である「地域の中の養育と子育て支援」について、白戸理事長をリーダーに、職員の皆様の熱い想いを肌で感じるようになりました。今回の法人役員のお話を頂いたときに、その熱い想いを持つ職員の皆様のお仲間に入れていただけるのだと、うれしい気持ちとワクワク感があり、お話をうけた次第であります。

こどもたちを取り巻く環境は深刻さを増しています。しかしいつも川崎愛児園には『笑顔』があります。そして『地域』という温かいサポートがこどもたちを包み、安心した生活の保障が守られていることを、これまでの関わりの中で感じていきます。

また、地域支援の強化という事で、『家庭支援あんど』の創設、おめでとうございます。『地域連携』『多職種連携』が重要課題である中、『連携』と一言にすると簡単なように思われますが、繋がりが合うことがゴールではなく、信頼関係を築き繋がりを続けていく事が、とても大切であると思っています。私が施設長になったばかりの頃、会合等で白戸理事長にお会いすると必ず「元気?」「大丈夫?」と優しくお声掛けくださりました。「連携」とは、他者を思いやる優しさから出発するものと、白戸理事長に教えていただきました。そんな白戸理事長とのご縁に感謝し、微力ではありますがお役に立てればと思っております。ぜひぜひよろしくお願い致します。

## 川崎市の子どもたちや若者を 取り巻く社会状況について

### 川崎区の取り組み

川崎愛児園理事(たじま家庭支援センター)

江良 泰成



コロナ禍だった令和2年4月から、官民が集まり川崎区食糧支援ネットワーク会議を立ち上げ、子育て世帯を中心に食糧支援を開始しました。そこでは食料を配布するだけでなく、食糧支援の現状と課題について意見交換を積み重ねてきました。その中で、民生委員児童委員を中心として「みんなのご飯」が開始となり、現在は中学校区を中心に、夏休み・冬休み前に食糧配布や手作りした食べ物を提供したりしています。

地域を見渡してみると、核家族化や地域との関係の希薄化(自治会・子ども会の消滅)・共働き世帯の増加や晩婚・晩産化による家族形態の変化(父子・母子家庭の増加、非正規雇用の増加)等、色々な実態が浮き彫りになっています。

このように、子どもたちや若者、子育て家庭を取り巻く問題は複雑・深刻化しています。また、経済的な困窮のみならず、家庭環境や疾病・成育歴等の様々な課題から社会的に孤立したり、自立を阻害する要因を複雑に抱えたりして、その状況が親から子へと連鎖していきます。

小中学生の自己有用感、自己肯定感、将来への希望感について市の調査結果を見てみると、小中学生の自己有用感を示す数値は90%以上と比較的高い水準にあるものの、学年が上がるにつれて低下する傾向があります。そして、自己肯定感を示す数値、将来への希望感を示す数値も同様に学年が上がるにつれて低下する傾向が見られます。

このことから、「子ども食堂」や「フードパントリー」等も活用して、自身が必要とされる場の創作をしたり、地域の大人たちがいつも気にかけて見守ったりすることが大切だと感じています。

地域の大人と顔の見える関係づくりを意識しながら、居場所づくりを中心として、子どもが援助希求をしやすいように日常的な関係作りができる地域を目指していきます。

## 支援者のご紹介

川崎愛児園に継続的なご支援をしてくださっている方々をご紹介します。

### 「地域と共に歩む学校」を めざす

川崎市立宮崎小学校 校長

田中 克義



この春、宮崎小学校は二百十三名の新入生を迎えて、全校児童二百二十八名で令和7年度のスタートを切りました。4月からこれまで、本校では日々の学習の他に、一年生を迎える会や運動会、日光修学旅行、八ヶ岳自然教室などを行ってきました。保護者、地域、愛児園の皆様のご支援によって、子供たちにとって貴重な経験となる様々な教育活動が着実に実施できていると感じております。いつもありがとうございます。

本校は毎年、「愛児園まつり」「クリスマス会」等の行事への参加や、愛児園への施設見学等をさせていただいており、本校の教職員が、愛児園の役割についての理解と愛児園との連携を深める機会となっています。その他に、地域協議会への参加も学校にとって貴重な機会となっています。協議会では、様々な形で地域に関わる皆様との情報共有を通して、愛児園が児童養護施設としての機能だけでなく、子育て支援や子どもの居場所、地域コミュニティの場としての役割も担っていることが分かります。また、子供たちが多くの方々に見守られながら育てられていることを実感します。そして、学校は地域の一部として、子供たちの成長の一端を担っている存在であることを自覚して、日々の教育活動を進めていくものだ改めて気付かされます。

「地域と共に歩む学校」をめざす本校にとって、学校と地域をつなげ、より多角的・多面的な支援の実現を可能にする機会を設けてくださる愛児園、いつも愛情と思いをもって子供たちを見守ってくださっている白戸理事長をはじめ、スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

宮崎小学校は、これからも子供たちの成長のために地域との協力・連携を図ってまいります。どうぞよろしく願います。



## まず、大人が幸せにいてください

びんずネット 金子あかね



私は愛児園の権利擁護虐待防止委員を務めています。愛児園のイベントや行事に参加する機会も多いのですが、愛児園のお子さ  
んたち一人ひとりの育ちを、園長先生はじめ職員のみなさんと地  
域の方々が一緒にあたたく見守っていらっしやる姿にいつも感  
動しています。

私は個人の活動として、お子さんの不登校で悩む保護者に向け  
た活動をおこなっていますが、それは私自身がかつて息子の不登  
校を経験し、悩んだ親の立場だったからです。

息子が小さいときから、実家が遠いということもあり私はかな  
り孤独な育児をしていました。周囲に頼る人はいないと思ひ込み、  
切羽詰まっていたにもかかわらず、誰かに頼るということを感じ  
つきもしませんでした。「助けて」ということができなかったの  
です。だからこそ、今悩んでいる保護者の方には「情報とつな  
がりが大事だ」と伝えしています。

愛児園には「児童家庭支援センター」があり、子育てに関する  
さまざまな相談に乗ってくれます。また地域の子どもたちのため  
の学習支援や、乳幼児、中高生の居場所もあります。

地域に支えてくれる場所があり、支えてくれる人がいることを  
もっと知ってつながっていただく。そのために私にできることを  
していきたいと思っています。

川崎市には全国に先駆けて2001年に制定された「川崎市子  
どもの権利条例」があります。この条例にかかわった子ども委員  
からの「子どもたちからのおとなへのメッセージ」が私は大好き  
です。「まず、大人が幸せにいてください。おとなが幸せでない  
のに子どもだけ幸せになれません」この言葉から始まるメッセー  
ジを読んだとき、胸を突かれる思いがしました。

子どもにも真摯に向きあおうとするからこそ、葛藤が生まれるこ  
とがあります。よかれと思ってしたこと子どもとの関係性を損  
なう場合もあります。そんなとき、一人で抱え込んで自分を責め  
ないでほしい。自分を追い詰めないでほしいと思います。話を聞  
いてくれる人、助けてくれる人はかならずいます。その人とつな  
がってください。私もそういう人でありたいと思っています。

## コスモス文庫と子どもたち

コスモス文庫 吉満史代



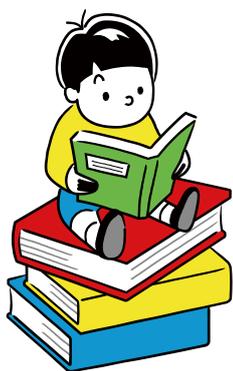
ご縁があって、コスモス文庫でボランティア活動をする  
ようになって早13年が経ちました。

活動を始めて間もない頃、一人の女の子から「〇〇達  
はどうしてここにいるの？」と尋ねられ、咄嗟のことで  
返事に困り「幸せになるためだよ」と答えた事がありま  
した。

時を重ねて、白戸園長はじめ職員さんが子ども達に対  
していかに愛情深く接しておられるのかを見聞きするよ  
うになるにつけて、その時の答えは正解だったと感じて  
います。

というのは職員さんは、私達が子ども達の成長やちよつ  
としたエピソードをお伝えすると、まるで我が子を褒め  
られたかのように喜んでおられます。また、昨年でした  
か卒園した子どもが二人遊びに来ていて、「今日は何しに  
来たの？」と尋ねると「たかしがいるからさあ」と言っ  
たのです。文庫のおばさん達は一斉に「たかしって誰？」  
と尋ねました。すると「園長だよ」との返事でした。こ  
の返事にすべてが集約されていると感じる出来事でした。

私達の活動は週一で幼児さんとの関わりが主となって  
いますので、出来ることは限られていますが、中学生に  
なっても学校帰りに文庫の部屋に立ち寄り何気ないお喋  
りをしていく子ども達の成長を見守り、小さい頃のことを  
知っている遠い親戚のおばちゃん的な存在となれるよう  
に、出来るだけ長くこの活動を続けていければと思っ  
ています。



## 地域で暮らす大人にできること

NPO法人シロクマ 落合修司



私たちシロクマは、それぞれ本業を持つスタッフが休日  
に集まり川崎愛児園さんの子どもたちとお料理やお菓子づ  
くりなどを通して交流させていただいています。

はじめのうちはお互いに緊張していますが、毎回会って  
いるうちに少しずつ距離が縮まり手を動かしながら「やさ  
い切るのうまくなつたね」「えーほんとですか」と自然な会  
話が生まれます。思い思いに盛り付けたひと皿に「うわー  
きれい」「めっちゃかわいい」と声を弾ませ写真に収めたら  
みんなでおいしくいただきながら団欒です。

ごく平凡な会ですが、大人たちと一緒にひとつのことに  
取り組みながら心を通わせていく楽しさや関係を築く過程  
が織り込まれていて、そのようなことの連なりが子どもた  
ちの「生きる力」になればと期待しています。

かつて私は困難な境遇にある子どもたちのことを知り心  
は痛めても自分にできることはないと思っていましたが、川  
崎愛児園さんが機会を与えてくださり仲間と共に小さな活  
動を始めることができました。うまいくいことばかりではな  
く知見や経験の乏しさから困惑することもありますが、職  
員の方々からご助言をいただきながら続けています。ボラ  
ンティア同士がお互いの活動を知り学び合うことができ  
協議会も活動継続の支えです。

このように地域社会の中で思いのある人たちを子どもた  
ちに繋げてくださることへの感謝がいつも私の胸にあります。

シロクマは子どもたちが卒園  
後も彼らの自立に寄り添い続け  
たいとの思いから親戚のような  
距離感で集まることのできる場  
や機会を設けています。そこを  
安心の基地としてうまく活用し  
ながら自立の足場を固めていく  
ことを願っています。



# ご寄附者様一覧



日頃よりご支援・ご協力いただきまして、  
ありがとうございます。

いただいた寄附金は地域向けの居場所事業や退所児童のアフターケアのために役立たせていただいております。誠にありがとうございます。

一部お名前が分からず姓のみとさせていただいている方もいらっしゃいますがご了承下さい。又、掲載許可の連絡が取れない方に関しましてはお名前を控えさせていただいております。お名前に誤字・脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘下さい。

(順不同・敬称省略) (令和6年11月1日～令和7年5月31日現在)

## 団体

川崎市長 (一財)日本児童養護施設財団 神奈川県社会福祉協議会 川崎市社会福祉協議会 宮前区社会福祉協議会 有馬鷺沼地区社会福祉協議会 川崎市民生児童委員協議会 宮前区第3地区民生児童委員協議会 宮前区更生保護女性会 宮前平グリーンハイツ自治会 川崎鷺沼ロータリークラブ 川崎富士見ライオンズクラブ JAセレサ川崎女性部宮前支部 宮崎小学校 宮崎中学校 野川小学校 野川中学校 橘小学校 橘中学校 生田小学校 生田中学校 有馬小学校 有馬中学校 初山幼稚園 有馬白百合幼稚園 横浜保育福祉専門学校 宮前幼稚園 鷺沼小学校 PTA会長 カリタス学園後援会 カリタス宗教センター「野菊の家」父親の会 田園調布雙葉学園中学高等学校エリザベット会 洗足学園中学高等学校 東洋大学 土橋町内会 馬絹町内会 小台町内会 宮前平医院 青山弘毅 こども元気!内科クリニック ルミエール歯科 吉田敦子 そめや内科クリニック ひまわりクリニック クボタ眼科 柿生駅前ファミリー歯科 川崎市歯科医師会 すぎのこ福祉会こどものいえもも保育園 至誠館さくら乳児院 特別養護老人ホーム等々力 (社福)ル・プリ 宮内眞治 (一社)諸磯ヨットオーナーズクラブ (一社)神奈川県馬主協会 (一社)日本レコード協会 (一財)チャイルドワン 中村憲剛 (一社)F-connect (一社)全国食支援活動協力会 (公財)Future for children FELLOWS 財団 (公財)資生堂子ども財団 (公財)川崎市スポーツ協会 (公財)日本YMCA 同盟 (株)朝日ホーム 北信土建(株) (株)ライオン事務器 (株)成建 野州工業(株) (株)宮前関口電機 (社)神奈川県養豚協会 (株)エヌアセットホールディングス 神奈川トヨタ自動車(株) (株)富留屋古賀音庵 大堀 裕 (株)プレナス (株)セレモニア アンドスチール(株) (株)ガイアフィールド 遠藤 陽一 (株)大和葬祭センター (株)泉屋東京店 (株)浜友A.L. (株)トップファースト (株)ファー・イースト・ネットワーク 村井 健児 日本乳化剤(株) (株)ajetjapan 長澤健太 (株)Daska & Desiree (株)FRAGRANCY (株)ドミノピザジャパン 246 鷺沼店、野川店 (株)ハンズ 平島 (株)茂園 (株)チュチュアンナ 1%クラブ (株)奥野設計 奥野覚 HOLUDONA (株) オシャレ工房KBN (株) 齊藤越鳴 関東三菱自動車販売(株) 杉田勝則 (株)funbox (株)SLCreations (株)アレフ 森泉康 (株)しむら 川崎雅代 (株)セント 清水弘之 (株)チッタエンタテイメント (株)三笠 甘利茂伸 (株)松浦興業 松浦明彦 (株)北野書店 (株)エルプラス ギャラリー四季(株) コストコホールセールジャパン(株)川崎倉庫店 (株)UYEKI (株)王将フードサービス (株)サニクリーン東京 花王(株)社会貢献部 (株)杉本カレンダー 杉本庄吾 新日本カレンダー (株)宮崎安弘 三菱ふそうトラック・バス(株) (株)ネクスアート (有)ミタテホーム (有)大昇 梅原農園 はたけベーカリー kimama カフェ 増田幸枝 NPO 法人子どもの教育・生活支援「アニー基金」プロジェクト 認定NPO 法人ブリッジフォースマイル Time is Love 石森美智代 オリモファーム 織茂耕治 神奈川県遊技場共同組合 川崎読売会 全国シャンメリー協同組合 高島屋労働組合玉川支部 たこ焼き壺屋 東芝労組小向支部連合会 日本鏡餅組合 日本鯉のぼり協会 フィリップモリスジャパン合同会社 プロレスリング Evolution 諏訪魔 毎日新聞東京社会事業団 小味山電気管理事務所 小味山康生 川崎市市民オンブズマン事務局 川崎野川郵便局 川崎馬絹郵便局 川崎梶ヶ谷郵便局 ワールドメイト 信行寺春秋苑 神奈

川県立子ども自立生活支援センター センター長 神奈川日産自動車(株) 川崎市あゆみの会 日本キリスト教団溝ノ口教会 三菱ふそう労働組合本社支部 全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部 (社)神奈川県共同募金会 川崎労働者福祉協議会 小岩井牛乳横浜ミルクセンター 北嶋商店 アマゾンジャパン合同会社 有限会社メディカル・ロード 田中 有限会社プレーン あっぷるケアプランセンター溝の口 吉兆 川崎野川店 関東アイスクリーム協会 (株)カレンズ 木村仁 神奈川福祉事業協会 カーブス(マルエツ川崎宮前、登戸向ヶ丘、川崎津田山、江田駅前、稲田堤、センター北、横浜吉野町、川崎宮崎台、横浜綱島、港北新羽、横浜すすき野、市が尾、溝ノ口、川崎鷺沼、センターみなみ、横浜片倉、小田急生田駅前) ショップかど (宗)日蓮宗 慈照寺 (社福)緑成会新緑の郷 ムジカ・パストラーレ 美容室アッシュヘア (一財)篠原欣子記念財団 24時間テレビチャリティー委員会

## 個人

手塚勝也 金子あかね 村木健一 片山美夜子 荘清二郎 富所明秀 鈴木尚貴 近藤慎之助・由美子 松井由紀子 寺澤宣法 野地愛子 長澤義浩 山川洋子 海福聡子 平岡京子 青木隆 野間耕三 村井昇 吾妻貝和 福世明子 後藤啓志 青木森隆 川合美弥子 安藤宏 太田美幸 金谷敏行 窪田麻里 宮部弘美 松本美奈 吉沢幸枝 石川浩治 千田将也 橋本和也 矢澤寛子 堂森知博・祐子 正月和美 菊池理絵 広川雅一 山田直子 青木康博 小関博之 西川のぶえ 藤香里 五十嵐澄子 岡村春菜 長尾実咲 高野繁 小野栄子 平林茂 山川信雄 鈴木敏夫 松原秀治・千秋 松本良保 三橋克慶 牧菜奈 本田貞 門司一徹 勝野由美子 戸石陽子・浩司 岩田弘枝 平本茂 山内一弘・多恵 村井美保子 瓜田緑 星浩美 市川安紀 幸山真理子 林翔一郎 木平智美 大田裕美 中野徹 秋岡正男 杉浦寛 江藤由貴 千田さくら 釜詩織 太内義明 藤崎萌 安藤雅教 窪田真里 藤浦和佳奈 内藤彰信 橋場智明 安達成幸 小出克志・直美 堤由惟 玉田勇 志村 伊藤陽一 藤井まゆ子 スギヤマナオヤ 中里文雄 酒井範子 青木寅治 藤井幹夫 落合文雄 小島喜芳 都倉準一 中村布佐子 目代由美子 出澤健一郎 庄司和子 上地雄輔 内田塔子 坂本令子 入口満子 岩壁信行 安藤あゆこ 斉藤昭彦 松本亜鐘 吉村美枝 武舎澄江 田代浩潤 関口治 川崎愛児園ボランティアの方々 社会福祉法人川崎愛児園職員有志 他 匿名多数

## 奨学金関係

(福)神奈川県社会福祉協議会 川崎市給付型奨学金 日本学生支援機構奨学金 タイガーマスク奨学金 ゼンショーかがやき子ども財団 萬谷児童福祉基金 ENEOS 奨学助成

## その他

愛児園祭りバザー品寄付：沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。



# 川崎愛児園祭りお知らせ ～バザー献品のお願い～



例年ご好評をいただき昨年度は800名を超える来場者の方にお越しいただきました。

令和7年度は10月18日(土)に愛児園祭りの開催を予定しています。

つきましてはバザー品の献品を募集しております。ご家庭にある、食品、日用品、消耗品、衣類等の新品・未使用の物がありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。ご提供いただける場合は、

10月10日(金)までに川崎愛児園にお持ち込みいただけますと幸いです。

毎年多くの方々のご支援・ご協力を賜り、盛況に開催させていただいております。

今年もご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 幼児フロア



## つばみユニット

今年度は年中3名、年長2名の女の子計5名で毎日賑やかに生活しています。挨拶が出来るようになる事、相手の気持ちを考える事、そして楽しく過ごす事をユニットの目標として日々過ごしています。

各々将来の夢を持ち、素敵なお姉さんになる為幼稚園でも、園生活でも様々な事に挑戦している最中です。職員一丸となってサポートしていきたいと思っ

## わかばユニット

今年度は小学3年生1名、2年生2名、1年生2名、年長1名のパワフルな男子計6名で生活しています。新しく小学生になった子はピカピカのランドセルを背負い、毎日慣れない宿題を頑張っています。1つ学年が上がるの大変な事も増えますがカッコいいお兄さんになる為、園生活でも日々努力しています。わかばユニットでは喧嘩をしないで仲良く過ごす事、相手の話をよく聞く事、「ありがとう」「いめんね」をしっかり伝える事を目標として毎日楽しく過ごしています。



# 学童女子フロア



## れんげユニット

高校生2名、中学生1名、小学生3名の計6名で生活しています。新中学生は毎日部活に一生懸命取り組んでいます。小学生もサッカーやダンスなどそれぞれ得意な事を活かして習い事に取り組んでいます。

また小中学生は勉強にも力を入れていて自分のドリルや個別の学習支援にも取り組んでおり、頑張る姿を応援しながら見守っています。

## すずらんユニット

高校生1名、中学生3名、小学生2名の計6名で生活しています。中学生は部活、小学生は習い事に一生懸命取り組んでいます。高校生はアルバイトや進路に向けての動きを頑張っています。



# 学童男子フロア



## あおばユニット

高校生2名、中学生1名、小学生3名の計6名のユニット構成となっています。今年度は小学生が1名増え、新生活がスタートしました。習い事のバドミントンを頑張ったり、お菓子作りに励む小学生、毎日帰園後にドリルを解くことを習慣化している中学生、アルバイトを一生懸命

励む高校生とそれぞれ生活を送っています。年齢の幅はありますが、どの子も思いやりがあり、優しい姿をたくさん目にしたい私たちと思います。

## ふたばユニット

高校生3名、中学生3名の計6名で中高生だけのユニット構成となっています。将来の夢を叶えることや自立に向けて学校見学と日々アルバイトに励んでいる高校生、朝練も含め意欲的に部活動に励み頑張っていたり、学習支援に取り組む中学生と、目標を持ちながら充実した生活を送っています。この1年でのような成長が見られるのか楽しみにしています。



# 川崎愛児園分園 野川つくしホーム



今年度は小学6年生1名、中学3年生2名、高校1年生1名の計4名でスタートしました！お花見やガーデニング、トランプ、キャッチボールなどをしたり、部活や学校行事の応援へみんなで行ったりと子ども同士、職員と子ども同士でも温かみある時間を過ごしています。互いに思いやりを持って、地域の中で安心して過ごせるホームを目指しています！



本園だより



# ホームだより

## 児童自立援助ホーム 大志

定時制・通信制・全日制・就労の児童が6名生活しています。それぞれの自立に向けて毎月面談を実施しながら、課題に向き合い将来を考えています。悩んだり迷ったりすることもありますが、生活の中で小さな幸せを見つげられるように支援をしていきます。昨年は、退居した児童の結婚式に招待していただきました。退居しても誕生日のお祝いは、ホームの中で今いる児童と一緒に祝いをしていきます。先輩達の話聞いて、頑張ろうと思ってくれたり、同窓会のように集まる機会になっています。



## 児童自立援助ホーム こもれび

現在高校生5名、専門学生1名、青年期事業利用者の専門学生1名が生活しています。高校生は大学進学や就労自立に向けて、学業とアルバイトの両立を頑張っています。また、ホームでは利用者と一緒に春に植えたじゃがいもが沢山でき、50個以上収穫することができました。夏には野菜を育てようと考えています。(実は去年も植えていましたが、去年は変色したじゃがいも1個のみの収穫でした...) こもれびホームが開所して5年目を迎え、退所者は10名を超えました。社会に出て間もないですが、21歳で結婚して出産を迎えた退所者もいます。これからも社会に出て頑張っている姿や、家庭を持つ姿を楽しみにしています。



## 地域小規模児童養護施設

### 生田あやめホーム

あやめホームは今年度小学6年生が2名、中学1年生が1名、中学3年生が1名、高校2年生が1名、高校3年生が1名の女の子計6名でスタートしました。皆が思いやりを持って相手に関わり、楽しい思い出を沢山作るような温かいホームを目指しています。受験生2名が希望の進路に進めるよう皆で応援していきます。



## 地域小規模児童養護施設

### 野川すみれホーム

今年度は小学生2年生女児と男児が各1名、4年生女児1名、中学2年生男児が1名の計4名で生活をはじめています！温かな雰囲気や安心が感じられる家作りを大切にみんな元気よく過ごしています。得意・不得意それぞれ個性がありますが、支え合い、認め合いながら生活をし、自立を目指しています。地域の中で心身共に健康やかな育ちがなされるよう一致団結頑張ります!!



## 地域小規模児童養護施設

### 東有馬叶芽ホーム

叶芽ホームは今年度小学2年生、4年生、6年生と中学1年生、3年生、高校3年生の6名の子どもたちが生活しています。それぞれが習い事や受験、自立に向けて日々頑張っています。年齢幅はありますがお互いに優しさを持ち、一緒に笑い合いながら楽しく、穏やかな生活を送っています。子どもたちが前向きに、目標を持った生活ができるよう、みんなで支え合っていきたいと思います。



今年度も子ども達の学習支援の取り組みを大事にしながら週3回実施しています。子ども達にとっても定着したものとなり、職員や学習ボランティアさんと1対1の関わりを通して学ぶ時間を過ごしています。

幼稚園生は鉛筆を持つ練習、線引きや文字や数字に触れながら、何に興味を持つか確認しながら取り掛かっています。小学生は学校から帰って来てから、中学生は夕方から夜の時間帯で学習の時間を設けています。

子ども達には学ぶことの楽しさを感じ、得意分野を少しでも伸ばして将来に繋げていけたらと思っています。

ボランティアさんや非常勤の方のご協力に感謝しながら、今後も職員が一丸となって子どもたちへ丁寧な支援を継続していけるように努めたいと思います。

# 学習支援



# の取り組み



## 学習支援ボランティアとして



高橋 真紀

IT業界を早期退職した契機で始めた私の学習支援ボランティアは、今年で5年目を迎えました。

最初は教育経験のない私がどうしたら効率的な勉強をサポートできるか焦りましたが、周りの方々に支えられ学習支援というものが少しずつ理解できてきました。

愛児園の学習支援のシステムは、私が参加した直近5年間でも大きく変化しました。参加して1,2年は、子ども達は学校の宿題をこなすのがやっとで集中力も続かず、用意したプリントまではなかなかたどり着かない状態でした。そこから学習ボリュームを増やす施策として、宿題を終えてから学習支援に取り組むルールができ、学習支援の回数も増えました。また子ども達に学習の動機づけを行う仕組みやゴール設定が考案され、さらにそれぞれの将来の夢へモチベーションをつなげる取り組みも始まりました。

最近の変化は、きめ細やかな観察で実現する個別対応です。1人ひとりについて落ち着ける場所、長所を伸ばし無理なく弱点克服ができるコンテンツ等を吟味し、その子に一番適した学習環境が用意されます。私たち学習ボランティアもそれに沿った形でサポートを行い、都度フィードバックを返す仕組みが整っています。それによって子ども達が主体的に学習に向き合う姿勢が確保され、私達も目的意識をはっきり持って子どもに接することができているのです。

マンツーマンで30分、短いようで長い30分です。子どもの出すサインから「この子は今日どうしたいのか」を読み解きつつ一緒に課題に取り組み、今日の成果を2人で確認して「がんばったね！」。

この達成感のある30分の積み重ねが子どもの自信につながってくると信じています。

学習支援に関わる職員の方々の熱意と努力に敬意を表すと共に、私達も一緒に子どもたちが夢に進んでいくサポートをしていきたいと願っています。

## あぐりっこ農園



子ども達には野菜を育てる体験を通して収穫までの過程を知り、食材に感謝する気持ちも育みたいと思っています。

幼稚園生・小学生を中心に野菜の成長を楽しみにしながら、6月にはサニーレタスやじゃが芋を収穫でき、美味しくいただきました。今後も水やりや間引きをしながら残りの夏野菜を収穫できることが楽しみです。

今年度もJAセレス川崎さん主導のもと指導付き体験農園の「あぐりっこ農園」を子ども達と講習を受けながら野菜を育てています。  
マルチ張り・種まき・支柱立て・誘引・わき芽取り等  
JAセレスのスタッフさんや梅原農園の梅原さんにご指導を受けながら取り組んでいます。



# \* 地域における公益的な取り組み \*

ボランティア  
江木幸代

こども広場  
あいあい

あい  
あい

毎週木曜日の放課後に実施している「こども広場あいあい」は令和2年2月の開始から5年が過ぎました。5年前も今も変わらず地域のボランティアスタッフの方がおおらかに温かく子どもたちと関わってくださっています。そのおかげで子どもたちは「あいあいは居心地が良いところ」と感じてくれているようです。「あいあい毎日あったらいいのに！」と話す子もいます。

新しく入ったエアホッケーに夢中になる子、ゆったりと本を楽しむ子、ピアノを一生懸命練習する子、縄跳びや卓球で体を動かすのが好きな子、レゴや工作で面白いアイデアを披露する子…みんなが安心して伸び伸びと過ごしています。そして大勢で囲む夕ごはんの味は格別ようです。

保護者の方が子どもたちの普段の様子やちょっとした相談事をお話されることも増えています。地域の人とゆるやかに繋がれることが保護者の皆さんにとってもお守りになっているのではないかと感じます。

週に一度のあいあいに加え、今年度も家族で参加できる週末の特別回を予定しています。より一層信頼される居場所となるよう進化していけたらと思っています。



食事作りが終わって、子ども達との会食タイムに「あいあい」の食事は美味しい〜！」と言ってもらえた時は、「やった〜！」と素直に、嬉しく喜びを感じます。

子ども達の遊んでいる声を聞きながらのクッキングは、子育て中を思い出す瞬間でもあります。子どもは宝！子ども達と関わることで、元気をもらい、いろいろ学ぶこともあり、ポケ防止になっています。こども広場「あいあい」で過ごす時間は、私にとって栄養剤なのかも…



週末特別回～スーパー竹とんぼ作り体験～



盛り上がる卓球



最近人気のエアホッケー

川崎市ひとり親生活・学習支援事業  
すえっ子  
広場

平成29年より開始したすえっ子広場は今年で9年目になります。今年度も週に2回、子ども達に「居場所」の提供を行っています。

小学生の部では、子ども達に様々なものに触れ、幅広く経験を積み重ねて欲しいとの思いから、余暇の時間には月に一度特別なイベントを用意しています。5月には今年度最初のイベントとして、公園でピクニックを開催しました。自然豊かな公園の中で、みんなで身体を動かしたり、小さな命に触れたり、食事を楽しんだり、普段とは異なる環境の中で存分に特別な思い出を作る事が出来ました。このような経験を通じて、

子ども達同士の関係性も深まってきたように感じます。時には対立する場面もありますが、他者の意見を尊重したり、相談しながら物事を決められる事が増えてきました。一緒に学び、一緒に遊び、一緒に笑い合う時間の中で、日を増すごとに広場の一体感が強まっている事を感じます。

中学生の部では、昨年度初めて卒業生を送り出す事が出来ました。4人全員がそれぞれの志望校に合格し、広場に通い出した頃からひと回りもふた回りも成長した逞しい姿で、新たな道へと踏み出して行きました。目標に向けてひたむきに努力を続ける先輩達の姿に刺激を受け、今年度は広場全体の学習への熱がより一層増した印象を受けます。

そんな子ども達にとって、ボランティアスタッフのみなさまはこの上なく心強い存在となっています。学習を教えて頂く事はもちろん、時には人生の先輩として、学校生活や家庭での悩みなどを聞いて頂く事もあります。みなさまのおかげで今日もすえっ子広場は子ども達の「居場所」であり続ける事が出来ています。今後も地域との繋がりを大切にしながら、温かみのある「居場所」作り努めて参ります。



夕食



ピクニック



クリスマス



卒業式

ボランティア  
吉川くらら



大学2年の春、先生に紹介されてこのボランティアに参加しました。困っている子どもたちを支えたい、子どもと関わる仕事がしたいという思いから始めましたが、今では私にとっても大切な「居場所」です。子どもたちと過ごす時間が楽しく、気づけば3年の月日が流れていました。活動を通して、卒業後は放課後デイサービスで働くことを決意し、この事業を展開している会社に就職を決めました。卒業後も、何らかの形で関わり続けていきたいです！

## 「家庭支援あんど&」から広がる、

## 安心とつながりの支援



# 家庭支援 あんど &

センター長 上 順一郎

この春、川崎愛児園が新たに開設した「家庭支援あんど&」がスタートしました。「あんど」は“安堵”、“安心”の気持ちを、「&」は人と人とのつながりを意味し、「安心」と「つながり」を大切にする場所になってほしいという願いが込められています。

この拠点は児童家庭支援センターの機能を拡張する形で運営されており、地域の子育て家庭を対象とした支援を中心に活動しています。日常のちょっとした困りごとから、子どもの発達や家庭内の不安などさまざまな悩みに寄り添いながら地域の家庭とのつながりを作っていきたいと考えています。

また、家庭だけで抱え込まなくてよいように地域の関係機関との連携を強めているのも「あんど&」の特徴です。保健・医療・福祉・教育など、児童分野だけでなく障害、高齢分野の専門機関とつながりを持ち、顔の見える関係づくりを進めることで、支援の網目をより細やかに、より温かくしていくことを目指しています。

家庭の支援は一つの機関だけでは完結しません。「どこに相談していいかわからない」と感じたとき、“まず扉を開けてもらえる場所に”そんな思いを込めて「あんど&」は地域に根ざした活動を続けていきます。

将来的な「里親支援センター」の設立を視野に入れつつ、段階的に支援機能の拡充も進めています。地域の中で暮らすすべての子どもと家庭が安心して過ごせる居場所を持てるよう、これからもつながりを大切にした支援を展開していきます。



外観



入り口



受付窓口



センターからの風景



事務所



相談室



会議室

# まぎぬ児童家庭支援センター

まぎぬ児童家庭支援センターでは、地域にお住まいの0歳から18歳までのお子さんに関するご相談を受け、問題解決に向けて一緒に考えるお手伝いをしています。社会福祉士・臨床心理士・保育士などの専門スタッフが無料でご相談に応じます。

2歳から小学生のお子様を対象とした「子育て短期利用事業（ショートステイ・デイスティ）」の相談窓口としてもご相談をお受けしています。

その他、身近な相談先として地域の皆さんに知っていただくため、様々なイベントや広場の開放も行っています。ぜひお気軽にお問合せください。いずれも開催日はホームページ、LINE、Instagram等でお知らせしています。



LINEアカウント



Instagramアカウント



ホームページ



## 親子カフェ

(月1回)

保護者や親子向けに楽しんでいただけるイベントを開催しています



キットパスであそぼう



パパとあそぼう



ハロウィン



ベビーマッサージ



リトミック



絵の具あそび



親子クッキング



親子コンサート



## 参加者の声

親子向けイベント「親子カフェ」  
(参加者アンケートより抜粋)

- ・親も子どもも楽しめる！
- ・無料で毎月色々な企画があって楽しい
- ・なかなか家でさせてあげることが難しい体験をできて嬉しかった



# 年間行事報告

4月

お花見&BBQ  
入園式  
入学式

5月

こどもの日  
(市長からのプレゼント)

6月

卓球大会

7月

七夕  
幼児キャンプ  
小学生キャンプ

8月

ソフトボール大会  
水泳大会  
流しそうめん

10月

愛児園祭り

9月

お彼岸

11月

駅伝大会

2月

愛児園運動会

3月

卒業式  
卒業と進級を祝う会  
ディズニーランド招待

12月

クリスマス会

1月

真行寺招待  
出初式

## 令和6年度 文体行事・あすなろ作品展のご報告

- 卓球大会** 高校生女子の部：Kさん優勝 (高校生の部3連覇)
- ソフトボール大会** 職員女子の部：Yさん準優勝
- 模範試合賞**
- 水泳大会** 努力賞：Kくん、Yさん
- 駅伝大会** 職員200mリレー：優勝
- 団体戦 男子の部
- 区間3位 Tくん
- 団体戦 女子の部：5位
- 区間3位 Hさん
- 送別マラソン大会**
- 小学生女子3、4年生2.4kmの部：Mさん3位
- 中学生女子2.4kmの部：Hさん優勝
- 高校生女子2.4kmの部：Nさん優勝
- 会長賞：Nさん、Rさん、Mさん
- (小3〜高3まで皆勤だった児童対象)
- 職員女子4kmの部：Tさん6位
- 職員男子8kmの部：Kさん3位
- あすなろ作品展**
- 書道の部
- 横浜戸塚西ロータリークラブ賞
- 銀賞：Aくん、Aさん
- 銅賞：Nさん、Yくん
- 工芸の部**
- ポーラ美術館賞
- 銀賞：Mさん
- 銅賞：Iくん、Yくん、Kくん、Nさん
- 絵画の部**
- 銅賞：Hくん、Mさん
- 手芸の部**
- 銅賞：Hさん

日頃より、当施設を支えてくださる地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

広報誌の作成を通し、日頃ご支援いただいている皆さまからのお声を頂戴し、子どもたちのみならず職員や法人全体を温かく見守っていただいていることを改めて実感しております。今年度は特に、新たな家庭支援拠点を創設するにあたり、様々な機関や地域支援に携わる皆さまと意見交換をさせていただく機会も多く、地域との繋がりを強みとする川崎愛児園だからこそ実現できる地域支援の発展の可能性を感じております。

今後も、地域の一員としてできることを一つひとつ積み重ねながら、地域の社会福祉に取り組んでまいります。引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記



広報誌担当・石橋